

Inventor 発展講習



Autodesk Inventor 発展講習

Inventorを効率よく活用するための講習です。PCが必須となります。

■受講日数

3時間～(各コースによる)

※3時間単位。1日最大6時間となります。

※日数は目安です。

■対象者

Inventor基礎コースを修了している方

■開催場所

お客様会議室

■受講人数

1～4名

※5名以上でも受講頂けますが、講師補佐が必要となるため追加料金が発生します。

講習には弊社テキストを使用します。

各講習概要

Inventorを効率よく利用していくための講習となります。

Inventorの機能を活用していく事で、設計の速度を上げ、ミスを削減していくことを目指します。

この講習はリストの中から必要なもののみを選択して受講していただく事が可能です。



発展講習リスト1

- 派生コンポーネント（半日）
- 共通部品の作成（2日）
- リプレゼンテーション（1日）
- フレームジェネレータ（半日）
- コンテンツセンター & ボルト締結（半日）
- パラメータリンク（1日）
- Webデータ挿入・中間ファイル活用（半日）
- 流用設計（コピーコンポーネント）（半日）



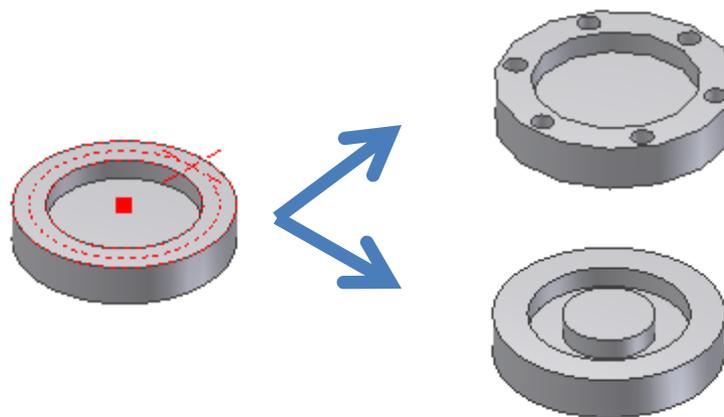
発展講習リスト2(専門講習)

- シートメタル(板金加工) (1日)
- 溶接アSEMBリ (半日)
- サーフェス・IGESインポート (半日)
- 爆発図(組み立て動画)(半日)
- Inventor Studio(レンダリング動画、静止画) (半日)
- プレゼンテーション・製造現場と設計との連携(DesignReview) (半日)



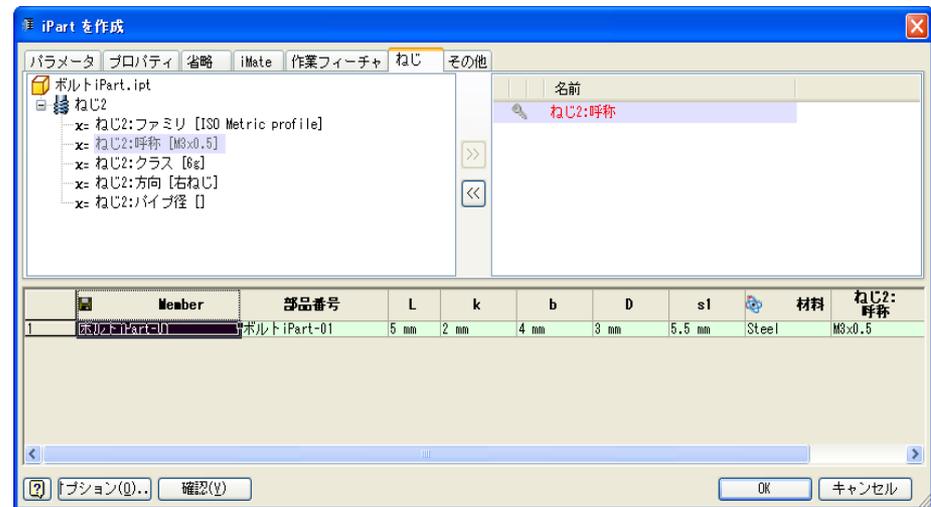
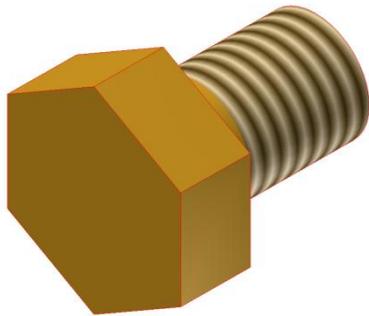
派生コンポーネント

- ある部品モデルからそれぞれ別の部品を作成する場合や、大規模なアセンブリの外形だけを把握し間合いを測りたい場合などに使用しする機能です。
必要なデータのみを取り込み簡略化が可能です。



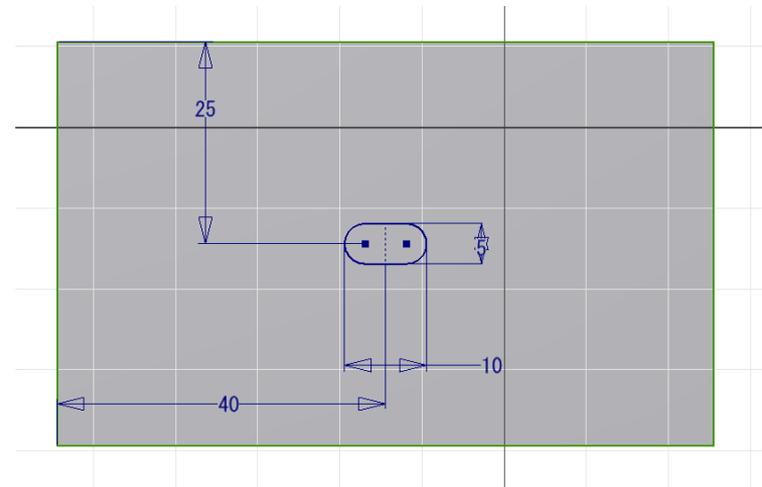
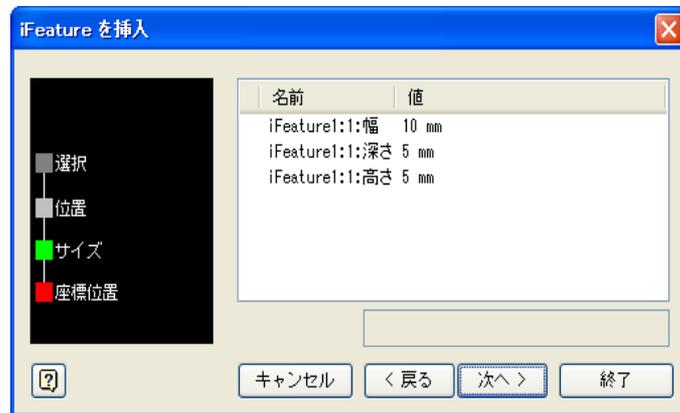
共通部品の作成

- iPart, iAssembly
iFeatureなどの機能を用い、形状は同じだが一部のサイズが変わるとい部品を作成します。



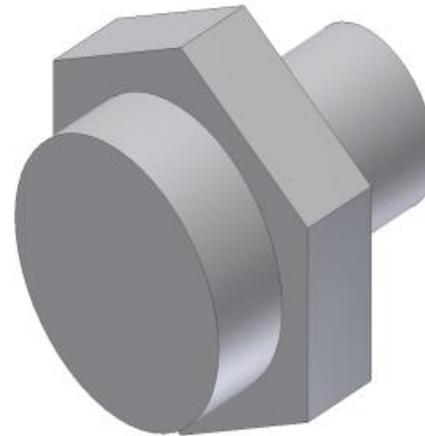
共通部品の作成

- iFeature
などの機能を用い、形状は同じだが一部のサイズが変わるという部品を作成します。



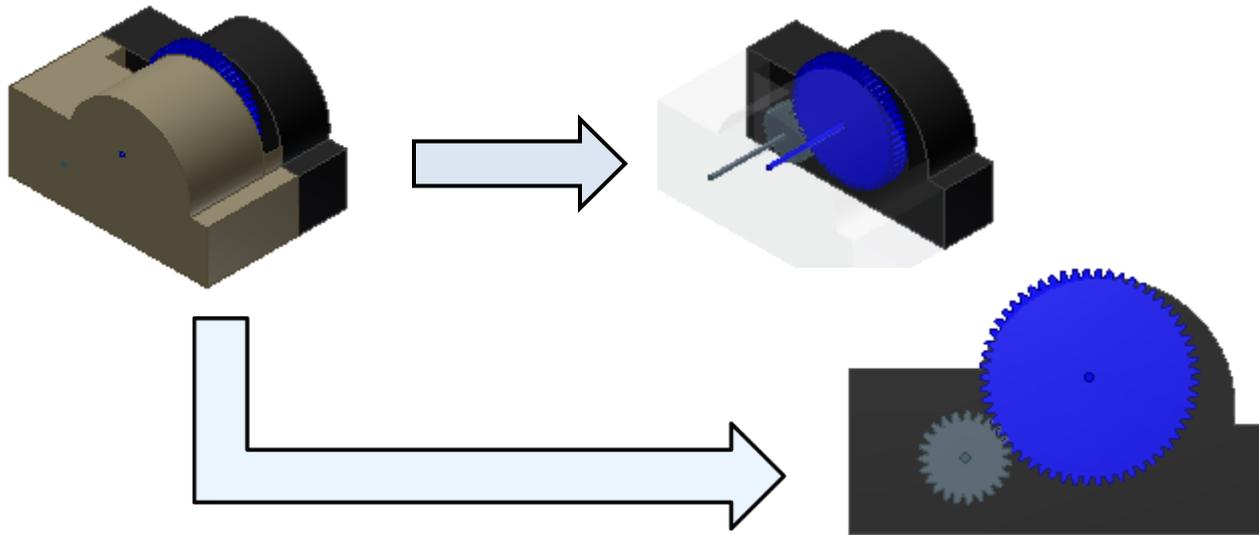
共通部品の作成

- iMate
あらかじめ部品にアセンブリ拘束を定義しておく機能です。
設定しておくことで、アセンブリ拘束を自動的に行うことができます。



リプレゼンテーション

- デザインビューリプレゼンテーション
アセンブリの中で特定の部品を非表示にし操作性を高める。
作業に必要なビューを保存しておくことで作業能率を高める。
判りやすくするために特定部品だけの色を一時的に変える。
など、表示を変えることで作業能率を向上させることができます。

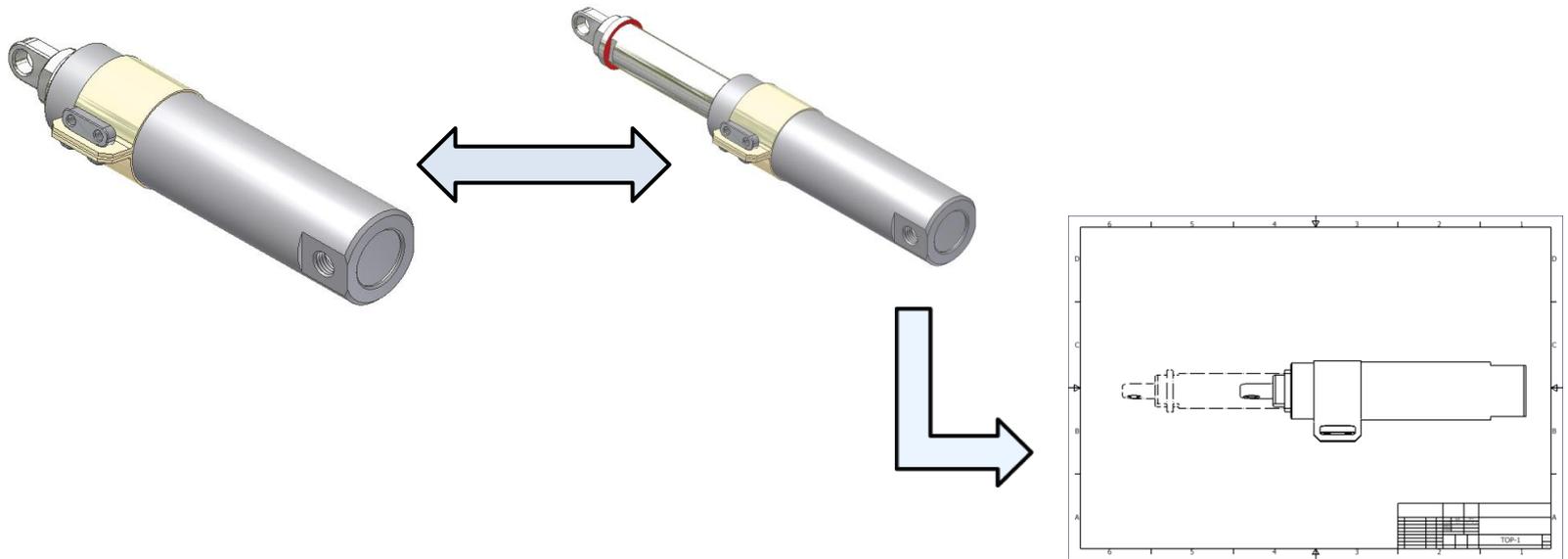


リプレゼンテーション

- ポジションリプレゼンテーション

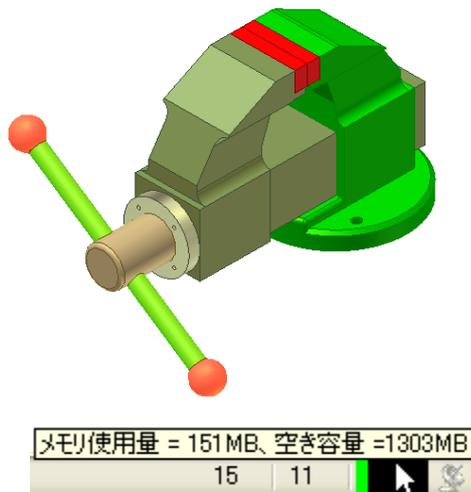
アセンブリ環境で、動きのあるモデルの特定の状態を保存することができます。

また、図面環境において動いた状態を一点鎖線で表示。
モデルの動きを簡単に表現する事が可能になります。

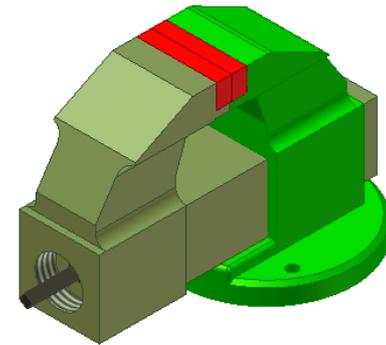
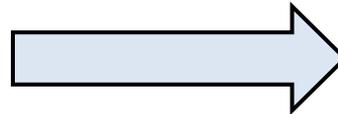


リプレゼンテーション

- 詳細レベルリプレゼンテーション
大規模アセンブリでの動作を向上させる機能です。
この機能を用いる事で、不要な部品をメモリに読み込まずにアセンブリの編集を行うことが可能になります。



編集に不要な部品を省略

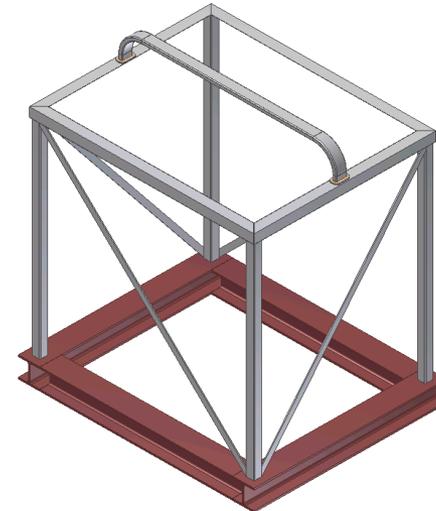
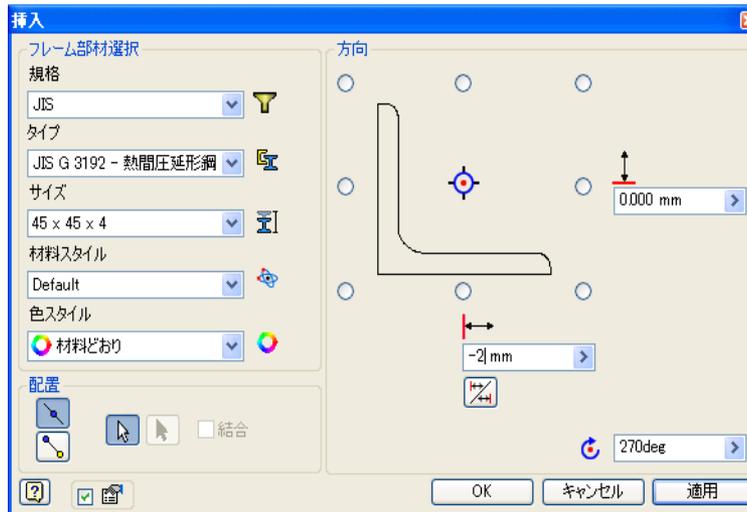


メモリ使用量が減少。
動作が軽量化される!!



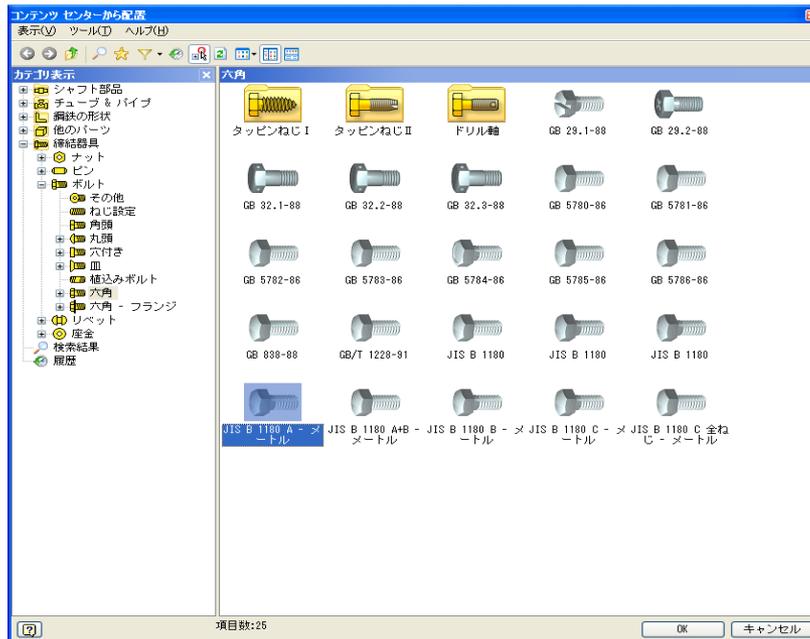
フレームジェネレータ

- 用意されている部材を使用し、フレームを簡単に設計することのできる機能です。



コンテンツセンター&ボルト締結

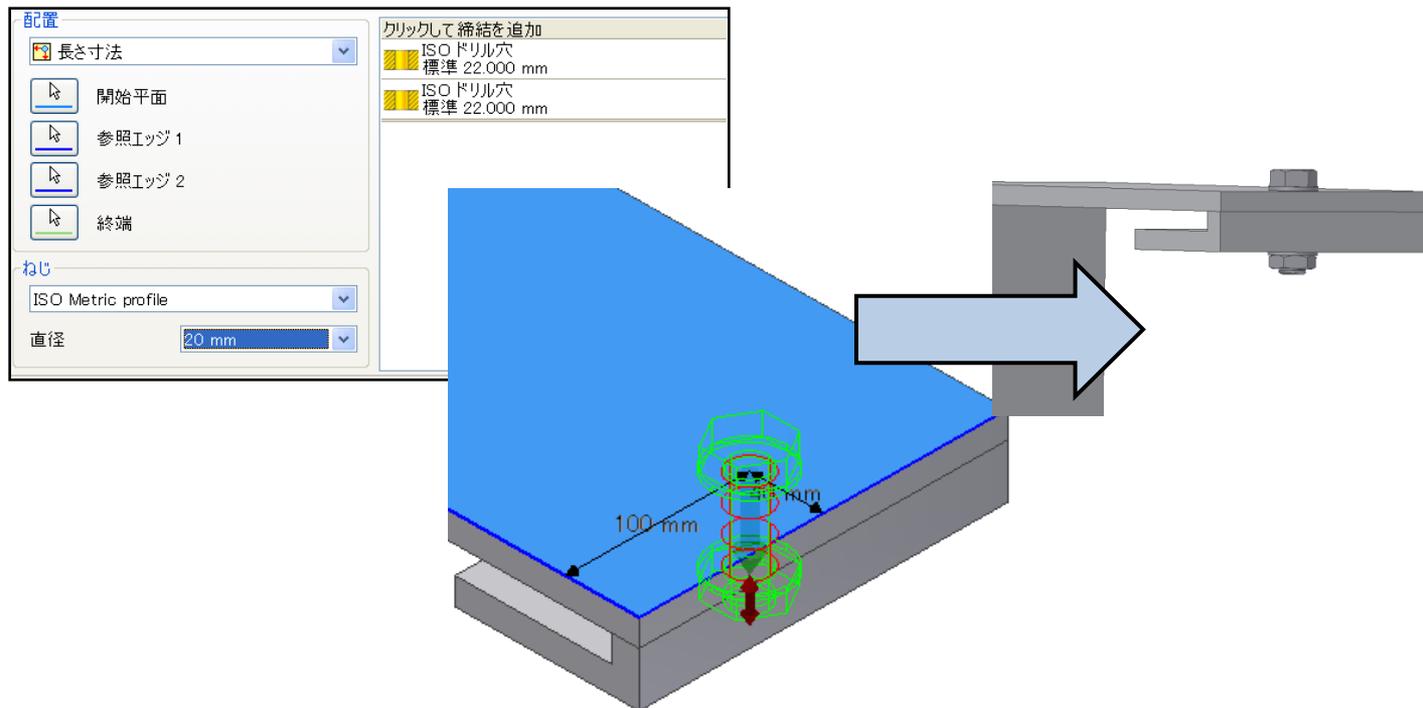
- コンテンツセンター
コンテンツセンターにはJIS・ISOなどの規格に準拠した部品が登録されています。
コンテンツセンター部品の配置・サイズ変更方法などを学習します。



コンテンツセンター&ボルト締結

- ボルト締結

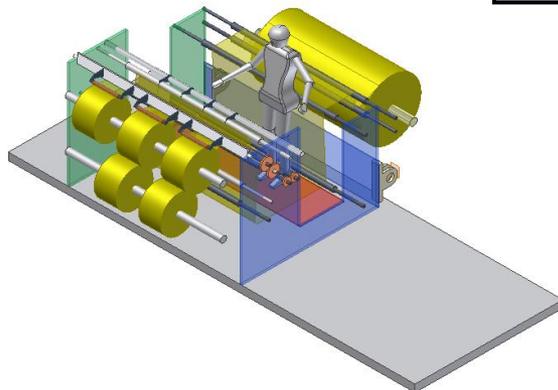
ボルト・ナット・座金の標準コンポーネントを自動配置する事が出来ます。



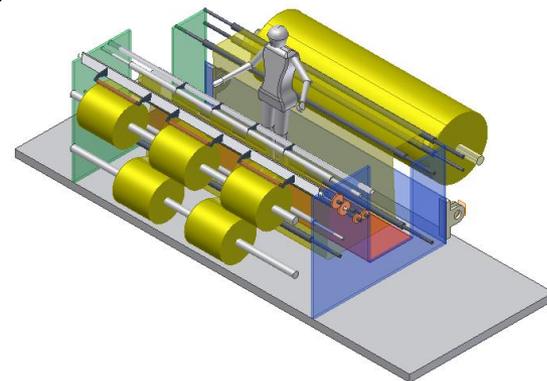
パラメータリンク

- Microsoft Excelを用いたパラメータリンクを学習します。
アセンブリや部品をエクセルの値と連動させて制御させることにより、サイズ変更の手間を軽減。
更により高度な計算式による制御も可能になります。

	A	B	C
1	シート幅	1500	
2	ロール面長1	1800	
3	切断シート数	5	
4	切断シート幅	300	
5			
6			
7			



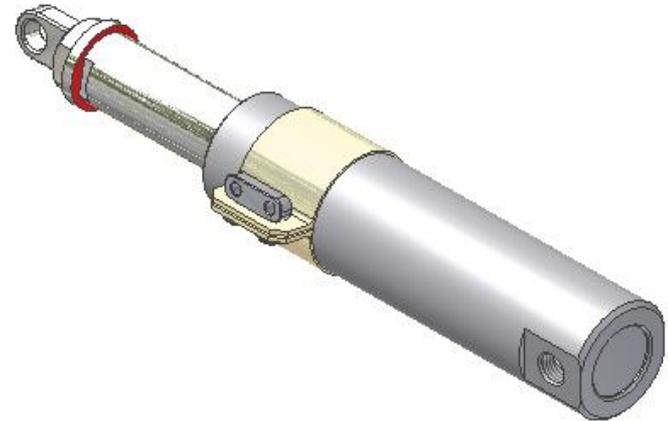
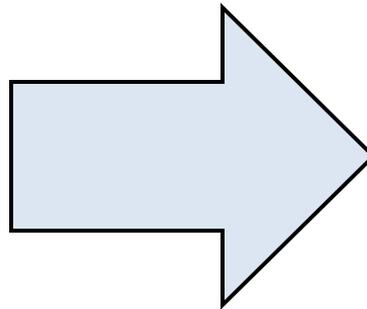
	A	B	C
1	シート幅	2500	
2	ロール面長1	2800	
3	切断シート数	5	
4	切断シート幅	500	
5			



Webカタログ挿入 (SAT)

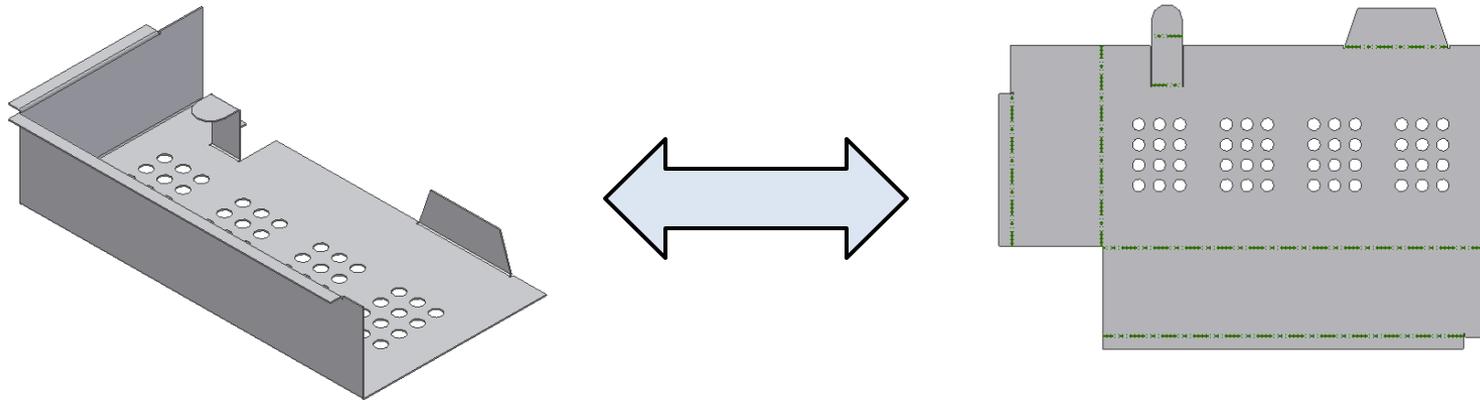
- Webに掲載されている、購入品を利用する方法を学習します。
- 他社・他CADとのデータのやり取りの基本を学習します。

.SAT
.STEP
.iges



シートメタル(板金加工)

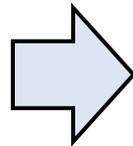
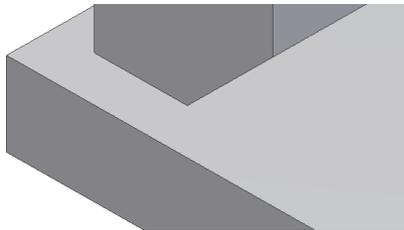
- 板金加工に適した機能です。
 - シートメタルスタイルの作成
 - 面の作成
 - フランジ
 - 面
 - コーナー継ぎ目



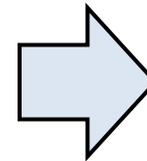
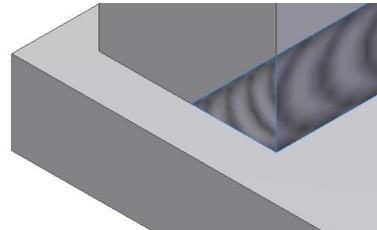
溶接アセンブリ

- ひとつのアセンブリの中で、溶接準備・溶接・機械加工を作成。それぞれの状態を切り替える事が可能です。

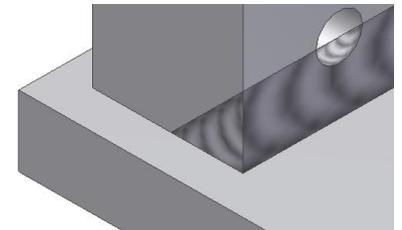
準備フィーチャグループ



溶接フィーチャグループ

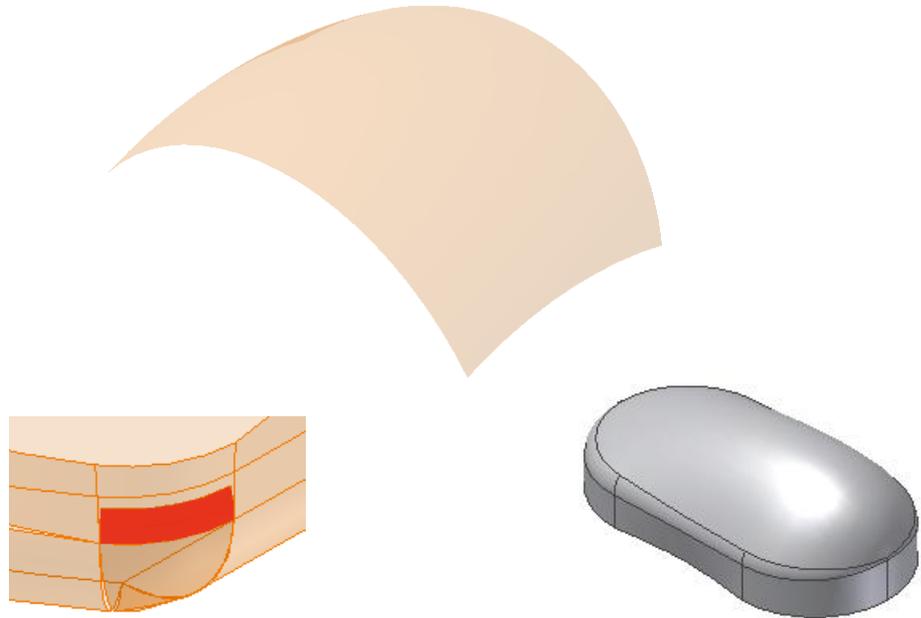


機械加工フィーチャグループ



サーフェス・IGESインポート

- ソリッドではなく面を作成する機能です。
この機能を使用する事で、滑らかな曲面の作成などが行えます。IGESファイルのエラーを修正し、可能ならばソリッド化します。
- サーフエスの作成
- 境界パッチ
- サーフエストリム
- サーフエス延長
- サーフエスステッチ
- IGESインポート

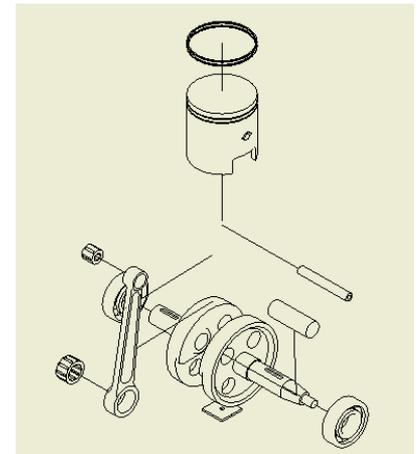
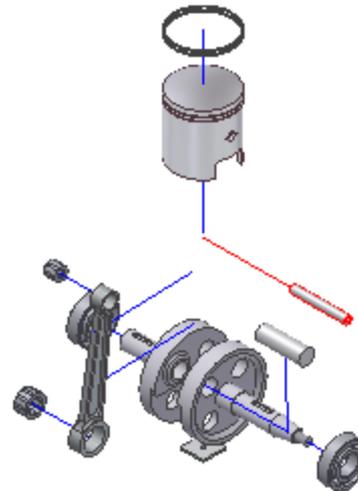
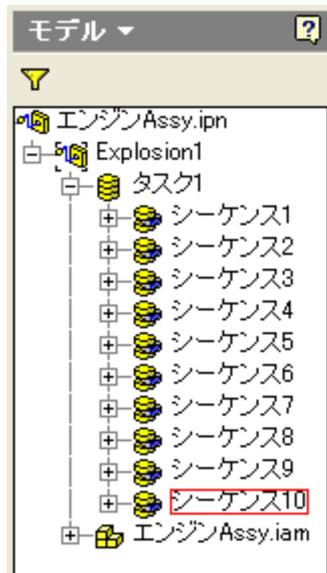


爆発図(組み立て動画)

- アセンブリの組み立て方を動画で作成する爆発図の作成方法を学習します。

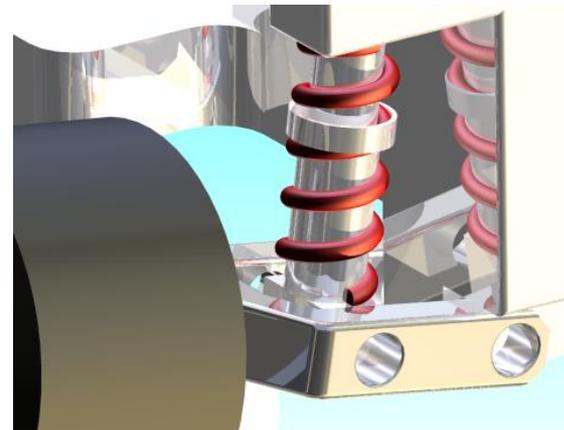
この機能を利用し、取扱説明書の作成を簡単に行うことが可能になります。また、作成した絵をワードに張り付けることも可能です。

- プレゼンテーションファイルとは？
- 爆発図の作成
- 視点の変更



Inventor Studio

- Inventorで作成したモデルの動きを再現するプレゼンテーション用の動画の作成を行います。
- カタログに使用可能な、美しいレンダリングを施したモデルの静止画作成を行います。
- 試作前に現実的な画像を作成できるため、制作段階から営業やプレゼンテーションを開始することが可能となります。
 - アニメーションの作成
 - 静止画作成



プレゼンテーション・ 製造現場と設計との連携 (DesignReview)

- 無償で配布しているAutodesk Design Reviewを使用したプレゼンテーション
 - 図面・アセンブリモデルをDWFにパブリッシュ
 - 断面・計測・文字の記入(マークアップ)
- Inventor無しで、製造現場が組立て動画を確認する
 - 組立て動画(ipn)をDWFにパブリッシュ
 - 文字の記入(マークアップ)

